



大阪樟蔭女子大の学生たちによる人形劇を楽しむ親子連れ

＝かつらぎ町保健福祉センターで

親子一緒に 絵本楽しむ

読み聞かせ会

かつらぎ

親子で絵本に
親しむイベント
が13日、かつら

ぎ町丁ノ町の町保健福祉センターであった。未就学の子どもたちと保護者約60人が参加し、大阪樟蔭女子大の学生たちによる読み聞かせや人形劇を楽しんだ。

同大は町と連携協定を結び、地域の課題解決に取り組む貢献活動の一つとして、絵本を通じた子育て支援事業「グリム絵本館」を実施している。

イベントには、児童教育学部などの学生15人が参加。用意した絵本約150冊から子供たちの好みに合わせて個別に聞かせたり、大型の絵本を開いて読み

上げたりした。クレヨン仲間たちが主人公の絵本を基にした人形劇も披露し、子供たちは興味深そうに色鮮やかな手作りの人形に見入っていた。

プロジェクトリーダーで児童教育学科3年の吉岡実華さん(21)は「親子で絵本を読む楽しさ、大切さが伝わればうれしい」と話した。

【松野和生】